



最初に赤い化粧を始めるヤマウルシ(左)、ガマズミ(右上) 化粧上手なウリハダカエデ(右下)

多様な色合いで目を引くコナラ

気温の変化など化粧の方法はいろいろ

自然界の旬



9 紅葉ってなんだろう

落葉樹は、冬支度を始める過程でちよつとの間お化粧をします。人に見てもらいたくて念入りにお化粧する木と、そこそこ化粧をしてすぐに葉を落としてしまう木があります。

ここ七塚原高原では、最初にナナカマド・ヤマウルシ・ガマズミが目まばゆいばかりの赤い化粧をしていました。十月はじめから高原のあちこちに赤い色が見えていました。が今は全く見えません。その後、カエデ類が十一月二十日頃まで自慢の化粧を見せていました。イロハカエデがもっとも化粧上手と思われていますが、ウリハダカエデもウリカエデもなかなか化粧上手です。

高原のあちこちを注意してみると、ヤマコウバシがとつても深みのある化粧をしているのを発見しました。冬、枯れ葉をつけているのを見るだけだったので、はじめから枯れ葉色かと思っていたら違っていたのです。

紅葉の最後を飾るのは、コナラです。クリ、アベマキ、クヌギも紅葉するのですが、多様な色合いで目を引くのは、なんと言ってもコナラです。

場所によって色を変えて、深みのある化粧をしています。最後まで木にくっついて頑張りつづけますが、木枯らしが吹き始めると一日中枯葉の雨を降らします。

化粧方法にはいろいろあるようですが、気温が十以下になると葉っぱの中の栄養分が、葉っぱを赤くする物質に変わって赤色を出す化粧方法(ナナカマド・ヤマウルシ・ガマズミ・カエデ類など)ともともと葉っぱの中に隠れていた黄色の物質が葉緑素に勝って黄色くなる化粧方法(イチヨウ)があるようです。

今年は気温の変化が落葉樹の化粧に適していたらしく、どこでも美しい紅葉がみられました。コナラの紅葉は今しばらく見られると思います。(NPO法人七塚原自然体験活動研究センター)

理事長 西村清巳

EA21 認証 企業探訪

9 (有)片山自動車工業

認証登録年月日: 平成二十年四月七日

業種: 自動車等修理・整備業

住所: 三原市久井町江木

002372

今回ご紹介する事業者は、「広島県のエコ支援事業」の第一号となった事業者で、車

エコアクション21(以下EA21)は、環境に配慮した事業を行う事業者を評価し、認証、登録を行う制度で、環境省が主体となっている公的な制度です。中小企業、学校、公共機関などすべての事業者が対象となります。

このシリーズでは認証・登録をした事業者の環境への取り組みを紹介していきます。

販売などを行っています。EA21認証取得のきっかけ

これまで車の安全性、経済性を重視した企業活動を行ってきました。しかし、自動車からの排気ガスや二酸化炭素の排出は環境問題への影響が大きいことから、これらの

活動全体に行き届いています。

「広島県のエコ支援事業」は、中小企業等を対象とした環境マネジメントシステム

の導入促進を図るため、EA21認証取得に要した費用の二分の一、上限二十万円の補助金を交付するものです。

業務内容について

自動車の販売・修理・钣金塗装をはじめ、レンタカー、タイヤ・オイル販売、燃料の

自動車排ガス削減を推進するため、エコ整備(エンジン内部クリーニングなど)、エコ商品の販売(オイル・タイヤなど)、低燃費車(ハイブリット車)の販売、お客様へのエコドライブ推進の提案を行っています。また、電気・

削減に取り組み、さらに自社の環境経営に取り組みこととしました。これらのことが社会貢献となり、お客様への信頼獲得につながると考え、認証取得に取り組みました。

環境配慮への取り組みのポイント

水・化石燃料の使用量の削減を徹底することで、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

会社のPR

自動車整備、レンタカーの提供などにおいて、最新の設備と確かな技術でお客様に安

電気ミニカー(右)と廃棄物管理マニュアル(左)

心して車に乗っていただくための企業活動を行っています。家庭用電源で充電可能な環境にやさしい電気ミニカーも販売しています。また、自動車整備から出る廃棄物の適切な処理処分を行うため、廃棄物保管庫や廃棄物管理マニュアルを整備しています。

(EA21地域事務局ひろしま 天玉朝子)

廃棄物管理をマニュアル化

信頼獲得めざし環境経営

いきものをまもる

9 生物にとっての「場」

「生物多様性」と「生態系」をキーワードに始まったこのシリーズも二年目の締めくくりに、これまでこの欄に登場してきた生き物たちを振り返ってみることにします。

ホテルやメダカの話では、彼らが住むことのできる環境を守る重要性と、不用意な移植や放流の弊害が指摘されました。サンヨウアオイの話では、その生育環境に住む他の生き物たちとの関係を含めた保全、オオサンショウウオでは、産卵場や幼生の生活も踏まえることの必要性を述べま

それぞれのケースで独自の対応を 学び、調べ、伝え、実践しよう

「生物多様性」には人間の生

した。さらには、新たに持ち込まれた外来種が在来種を駆逐するタイミングの例、



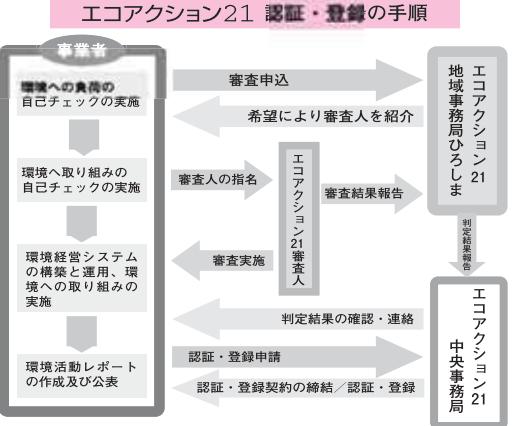
二葉山からの展望 人の生活の「場」

これらの話題から、どの生物にとつても、周りの環境や他の生物とのつながりが大切だということが垣間見えてきます。生物は、単独で生活しているのではないのです。一見わかりにくそうに、生物多様性」と「生態系」という言葉は、いろいろな生き物がつながりを持って生きている、という簡単なことに他なりません。そして前々回は「生物多様性」には人間の生

活や文化も含まれることに言及しました。

生物保全のための「環境」とは、ただ形をまねただけの物理的な構造ではありません。それには、「場」という言葉が当てはまるように思えます。あいまいな表現ですが、だからこそ生物の保全を考えると、その場に合った独自の対応を考えなければならぬ、ということを示しているように思えます。そして、「場」を踏まえた保全を行うには、その生物自身のことだけでなく、かかわりのあるさまざまな知識が必要になります。われわれは「いきものをまもる」ための熱意だけでは何もできません。学び、調べ、伝え実践していくことが、多くの生物の「場」に深く関わっている、ヒトという種の役割なのかもしれません。

(生物調査課 半田信司)



「環境配慮型」経営システム

エコアクション21

エコアクション21 地域事務局 1-021

「環境配慮型」経営とは、自社の本来業務の中で環境への配慮を行うことです。

「エコアクション21」(略称EA21)では、環境負荷を与えているもののうち主に二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量(水使用量)の3項目について把握し、削減することで、地球温暖化防止に貢献します。また、EA21に登録することで、水光熱費、廃棄物処理委託費などの経費削減や会社のイメージアップにつながります。登録手順は右図をご参照ください。

EA21で、一歩先の未来に踏み出してみませんか? 詳しくはお問い合わせください。

問合せ先: 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 エコアクション21地域事務局ひろしま (財)広島県環境保健協会内 TEL: 082 (293) 1512 (ダイヤル) FAX: 082 (293) 1524